

令和3年度 基本方針

令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大により、岐阜県さらには全国のスポーツ界、バレーボール界の大会開催などについて非常に厳しい状況が続いています。

バレーボールファンの皆さんや、各種団体や行政などの懸命な感染防止対策等により、早く以前のようにスポーツが出来るような状態に戻ることを願います。

さて当協会は、岐阜県におけるバレーボールチームを統括し代表する団体として、社会的な責任を果たすため、合理性、先見性、透明性を確保しながらチャレンジ精神を忘れずに協会運営を行ないます。

近年、社会環境が急激に変化する中で、「バレーボールを愛する全ての国民の心身の健全な発達、維持及び人間性の涵養に寄与し、豊かな社会の形成に貢献する」というJVAの理念のもと、所属チーム、バレーボールファンと一緒にバレーボール競技の普及、振興及び発展を図ることを目指します。

I 各種事業の再開

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くの大会や研修会等が中止となりました。令和3年度については、国、県、市町村など関係官庁の指針を遵守し、各種関係ガイドラインに従って各種大会、教室、講習会、研修会の再開を目指します。

II バレーボールの普及

東京オリンピック開催で全日本バレーボールチームの活躍が期待される中、県内Vリーグチームや、全国大会に出場するチームと一緒に、バレーボール教室を開催するなど様々なイベント企画を通じてバレーボール競技人口の拡大を図ります。

Vリーグ大会を積極的に誘致し、県内外のバレーボールファンに大きな感動を与えられるように努めます。

令和5年度までに、岐阜県バレーボール協会への登録者数12,000人を目指します。

III 指導者・選手・役員の育成

競技を継続的に続けていくためには、審判員を中心とした各種資格取得が重要な課題となっています。希望者の資格取得に向け、講習会・研修会を開催します。

審判員については、Vリーグや全国大会の運営をスムーズに行うために、計画的に全国大会や東海大会へ派遣したり、各種研修会に派遣するなどして養成します。

指導者や選手について、各種別と各委員会との連携を綿密に取り合い、指導者技術の向上、選手の強化育成を図ります。

IV 選手の強化

国民体育大会には、3種別以上が突破するように競技力向上対策委員会を始め総力を上げて、代表チームの強化を図ります。

各種全国大会への代表チームを推薦し、上位入賞を目指します。

V 組織体制の充実

協会組織については、ボランティア活動の中でいかに組織としての体制を維持していくかが課題となっています。まずは今一度、各委員会の体制を見直し検証し、委員会組織の充実を図ります。

組織を健全に維持していくためには適正な予算計画が必要不可欠です。一般会計の内容について特別委員会で内容を精査し、あるべき予算体系を提案いたします。

VI 体罰・暴力・ハラスメントの根絶

体罰・暴力・ハラスメントについては、新たな時代の流れの中で、今一度、従来からの古い考え方を改め、各チーム内の指導者での話し合いを行うなどして、一切の根絶を目指します。

VII その他

ねんりんピック岐阜2021大会の開催にあたり、大会への役員派遣など協会の役割を果たし、大会の盛会を目指します。